

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム けやき作成日: 平成 29 年 9 月 3 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	複数の民生委員や地域代表、家族、駐在所の警察官、行政職員等が参加して開催しているが、折角の機会をとらえて、ホームの運営だけでなく、地域の高齢者の問題を話し合える関係を築いていく。	会議がホームの繁栄だけではなく、参加委員にとっても知識や情報を得る大切な場として、地域社会に貢献し、頼れるグループホームを目指していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と新人職員の介護力に差があるので、外部研修に職員が交代で参加して、職員の介護技術の向上に取り組み、責任感や使命感を持って仕事に取り組む環境を整えていく。	その時代に合わせたグループホームを目指し、他事業所の管理者や職員との相互交流を図り、地域のグループホーム間の協力体制を構築し、職員の意識改革と、介護力の向上を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。